

輸送経済新聞に当社従業員についての 記事が掲載されました

10月19日（月）発行の輸送経済新聞10面に、「**どうなる？トラック特集 あの手社員はいま**」という特集で当社従業員についての記事が掲載されました。

こちらの特集は、2019年11月に掲載された「**若手社員に聞く物流で働くやりがい、厳しさ**」という記事でインタビューを受けた従業員の現在の姿を紹介するものとなっております。

記事の中では、2019年に東大阪ロジスティクスセンターの立ち上げに関わった2名の従業員が、事業拡大に向けた現在の活動と今後の目標についてインタビューを受けています。

是非ご覧ください。

2021年10月19日（月） 輸送経済新聞

ヒガシトゥエンティワン
（本社・大阪市、児島一裕社長）で働く藤山祐輝さんと林昂平さんは、中核となる3PL事業の拡大に向けて日々の業務に取り組んでいる。

藤山さんと林さんは、2019年にオープンした大阪府東大阪市にある主力拠点「東大阪ロジスティクスセンター」の立ち上げプロジェクトに携わり、中核的な役割を担った。

藤山さんは、2019年にオープンした大阪府東大阪市にある主力拠点「東大阪ロジスティクスセンター」の立ち上げプロジェクトに携わり、中核的な役割を担った。

林さんは、2019年にオープンした大阪府東大阪市にある主力拠点「東大阪ロジスティクスセンター」の立ち上げプロジェクトに携わり、中核的な役割を担った。

事業拡大に向け奮闘

藤山 祐輝さん（38）
林 昂平さん（29）

同センターで勤務。現在は車内作業を担当する人員の勤務体制の管理など、主たる拠点の管理業務を担当している。林さんは現在、東京で勤務。主に関東地域で3PL業務の新規案件獲得に向けた営業を担当している。

新型コロナウイルスの感染拡大は、業務に大きな変化をもたらしている。大手ECサイトの物流業務を委託している同センターでは、

感染拡大以降、業務量が増加。外出を避けECを利用して買い物をする人が多くなり、19年と比較して3倍の受注量があり、人員不足に悩んでいる。林さんは「顧客と接さないことに苦労している」と話す。ウチ会談システムを利用しているが、課題の聞き取りが思うようにできず、「顧客が本当に求めているものが何なのか分からない」と話す。林さんは「今後の目標として、藤山さんは「仕事で信頼を得て、より大きな業務を任せてもらえるように努力していきたい」と話す。ECの利用拡大を背景に取られた日時に正しく破損なく確実に消費者に届けたいことを求めている。今日できたとしても、明日できる保証はない。問題が発生すれば原因を明らかにして、しっかりと対応していきたい」と林さんは「関東で新規の拠点を開設したい」と話す。同社は関東で既に複数の拠点を構えているが、「拠点規模は十分とは考えていない。既存施設よりも大型の拠点を整備することで、事業基盤の強化や関東での知名度の向上を目指している。」（藤山 悠）

（輸送経済新聞社様の許可を得て掲載しています）